

話をじっくりと聴きたいと思います

朝夕涼しくなり、ようやく過ごしやすい季節になってきました。前期後半が始まってからも厳しい暑さで、外遊びができない日が続いていました。学校では、環境省が発表している暑さ指数(WBGT)で、体育科の学習や休み時間の外遊びの可否を判断し、子供たちに中庭に設置した三角コーンの色で知らせています。赤色であれば、暑さ指数が危険な状態で運動は原則中止、緑色であれば、外遊びをしてもよいことになっています。「今日も赤や・・・。」と残念そうな子供たちを見ると、辛い気持ちになりました。でも、熱中症は重篤な健康問題を起こす可能性があり、心を鬼にして慎重に対応しています。先週の24日、久しぶりに外遊びが可能になり、楽しそうに遊ぶ様子が見られました。過ごしやすい季節を存分に楽しみたいと思います。

ある朝の出来事です。一人の児童が、ランドセルの肩バンドを両手で握りしめ、目に涙をためながら、一步一步力強く踏みしめて登校してきました。「おはようございます。何か困っていますか?」と聞くと、うんとうなずき、「今日は行きにくかった」と話してくれました。「そうか、今日は行きにくかったけど、頑張ってきたんだね。」と言うと、大きくなずきました。「今はまだしんどいかもしれないけれど、がんばれそうですか?」と聞くと、また大きくなずき教室へ入りました。教室に入ると、笑顔が見られ、ほっとしました。帰りに話しかけると、「大丈夫だった。楽しかった。」と自信に満ちあふれた表情で話していました。成長を感じた一瞬でした。

自分の気持ちを人に伝えることは難しいと感じることがよくあります。子供たちの間で、もめごとがあった時に、その気持ちを伝えられたらお互いに嫌な気持ちにならなかったのに・・・ということがあります。気持ちを言葉で表現することは難しいかもしれませんが、自分の気持ちを他の人に伝えるだけで、心が和らぐことがあります。先ほどの児童も、自分の気持ちを伝えることで心を整えて登校できたのかもしれませんが。そう思うと、思いを言葉で表現できる力は大切です。その力を育てるために、私たち大人ができることは何でしょう。読書を勧める、読解力を高める授業をする、多様な考えに触れる機会をつくる等様々なことがあると思いますが、まず大事にしたいことは、「話をじっくり聴く」ことだと考えています。子供たちの心に100%集中して寄り添って話をじっくりと聴くことで、子供たちは安心して話をするように思います。私も、子供たちの周りにいる大人の一人として、「いつでも話を聴きますよ」というオーラを漂わせながら、かかわっていきたいと思います。

教育実習が終了しました

6月、8～9月と2回に分けて実施した本年度の教育実習が9月30日で終了しました。後半は、教育実習生の研究授業が続きました。どの教室でも、子供たちの教生先生を見る目がまっすぐで、やわらかく、実習生との繋がりが温かいものだと感じる瞬間がありました。最終日にはお別れ会が開かれ、別れを惜しむ様子が見られました。人は様々な人と出会い、かかわることで考え方を広げたり、多様な考えに出あったりして成長していきます。多くの実習生との出会いも、子供たちの成長に影響を与えていると感じました。



古いタオル、ご協力ありがとうございます

先日、トイレ掃除用の古いタオルのご提供をお願いしたところ、早速多くのご家庭からご提供をいただきました。ご協力ありがとうございます。保護者の皆様に、支えていただいていることを強く感じます。心よりお礼申し上げます。

6年生「財政教育プログラム」を実施

大津財務事務所から8名の方に来ていただき、総合的な学習の時間の一環として、6年生に財政教育プログラムを実施していただきました。公共サービスや税金の話聞いた後に、グループワークを行いました。100人の村を想定し、村の役人になったつもりで100万円の歳入と歳出について考えました。「子供たちの教育に多くの予算を!」「増税も必要か・・・」等熱心に話し合う姿が見られました。終わった後には、「全員の意見をくみ取るとはたいへんだと感じた」「予算を作る立場になって、借金に頼らず、未来のことを考えないといけないと思った」等感想を述べていました。将来に向けてお金の管理について、日本の財政状況について、意見をまとめることの難しさについて等、学びを深めることができました。また、この学習の様子が9月13日付けの中日新聞に掲載されました。昇降口を入ったところの掲示板に掲示していますので、懇談会等でご来校されたときに、ぜひご覧ください。



図書ボランティアさんによる読み聞かせ

PTAの図書ボランティアさんによる読み聞かせを定期的に行っています。9月17日には、図書室で大型絵本の読み聞かせをしていただきました。参加した子供たちは、お話に聞き入っていました。ボランティアの皆様には、よい機会を作っていただきありがとうございます。



3年生 マキノ宿泊体験学習実施

9月26、27日に、3年生のマキノ宿泊体験学習を実施しました。

1日目は、青空の下、マキノ駅から知内川沿いをマキノの自然を楽しみながら歩きました。弁当を食べた後は、子供たちが楽しみにしていた栗拾いを行いました。事前に調べ学習をしていたので、いがを足で上手に取り除き、栗を取り出していました。夜は、体育館でレクレーションを行いました。盛り上げ隊の活躍で、大盛り上がりで楽しい時間を過ごしました。その後、3軒の民宿に分かれて宿泊。お風呂、寝ることに関しては、テンションが最高潮といった感じでした。2日目は、朝から雨で急な増水が心配されたため、残念ながら川遊びを中止しました。ウォークラリーを始める頃には雨も止み、マキノ高原の散策を楽しみました。



入学してから初めての宿泊体験学習で、緊張していたと思いますが、全体的に食欲も旺盛で元気に楽しむ姿が見られました。バスの運転手さん等お世話になった方々へのあいさつが気持ちよく、感心しました。また、お風呂やトイレ等みんなが使う物の扱い方も丁寧で、心地よく活動できた

2日間でした。保護者の皆様に
(文責 齋藤 昌代)